

「初めてのボランティアの先に見えたもの」

大学生 匿名

今回、私は初めてのボランティア活動として、この日韓アジア基金発送作業に参加させていただきました。

小学校の頃から学校が行っている募金活動には参加していたのですが、大学生になってからはめっきりそんな機会もなくなり、何か自分にできることを少しでもやりたいという思いが強くなりました。大学というのは、やらされる場というよりも、むしろ自発的に行動することで自分の生き方を探り、どんな人間にもなれる場だと思っています。私は、一般のボランティアに参加することに今まで躊躇し続け、あっという間に大学3年になってしまいました。しかし、今やらなかったら後悔すると思ったし、自分から少しでも動こうと勇気を出せば、何か今までと違った世界が見えるのではないかと感じて、やっとこのボランティアに参加する決心がつかしました。



会場に着いた時、なによりも安心したのが主催者側の明るさや、私達ボランティアへの気配りでした。初めて会う方達もベテランさんから、私と同じように初めての人まで多くの方が参加しており、なにより自己紹介をすることで様々な分野の方が来られているという事が分かり、それが作業中にお話するきっかけとなり、さらに楽しく作業ができました。作業中は色々な人と関わることで、それぞれの人の良さがよくわかり、自分ももっとこうなれるようにしようと思うことも多く、様々なことが吸収できました。短い時間ではあったけれど、作業に没頭するうちにあっという間に時間は過ぎていたし、充実した時間が過ごせたと感じています。

このボランティア活動は、カンボジアの子供たちに直接関わるものではないし、又募金をするわけでもないため、発送作業という活動からしてみれば私達は木の葉のようなものかもしれないけれど、カンボジアでの子供達のことを知る機会にもなったし、この感想を書くことでもう一度ボランティアについて自分なりの考えを整理する事ができたと思います。これを機に、少しの勇気をだして様々なことに挑戦してみることを忘れずに、自分の描く自分なりの世界観を広げていきたい、と改めて思いました。